

第 1 回滋賀県行政経営改革委員会の概要

○県の役割の明確化、施策展開の管理

- ・ 行政経営を考えるときには、無駄な業務・事務を減らす、効率化する視点とともに、県がやるべき業務であるかという視点も必要ではないか。
- ・ 個々の業務や事務を効率化・改善していくことに加え、どういった事業にどの程度取り組むかという視点での管理にもバランスよく取り組んでいく必要がある。
- ・ 事業の必要性や効果等をしっかり説明し、説明責任を果たしていくことも行政経営の大切なポイントで、県民の理解や協力を得ないと、施策・事業は効率的に進まないのではないかと。

○行政経営のスリム化・効率化

- ・ 業務の選択と集中について、やるべきことに資源を集中させることが大事である。無駄な仕事はなく、それをやめるという判断は難しいが、大切である。
- ・ 業務の効率化は個人の意識で対応するアプローチでは難しくなっているのではないかと。業務を分析し、無駄な業務を抽出するなどしないと変わらない。

○組織力・職員力の向上

- ・ 組織の縦の連携をとり、横の連携をとれば、仕事の構造や目的、理念が分かり、効率化が図れるのではないかと。
- ・ 経営を考えたときに、職員が働きやすく、働き甲斐があることが一番の基本ではないかと。
- ・ 質の高い行政サービスの提供のために、職員の心身の健康管理推進については、高い目標を持ってはどうか。

○財政基盤の確立

- ・ 財源不足への対応は、これまでなかなか実効性をもってできなかったところをもう少しやり方を変えて進めていく必要ではないかと。
- ・ 国体は、十分コストを意識しながら取り組んでいく必要があるのではないかと。
- ・ 健康寿命は大切であり、これを延ばすことによって県の負担も減っていくのではないかと。

○目標の管理等

- ・ 目標は、努力目標では甘いのではないかと。
- ・ ハードルの高い目標を設定しなければならない中では、計画の進捗に対する見直しも考慮が必要ではないかと。
- ・ 経営理念は、どういう滋賀にしたいか、滋賀ならではの夢の部分が入ってこないかと、皆さんに伝わらないのではないかと。

第1回委員会における議論を踏まえた論点整理イメージ

